

事務事業評価シート (抜粋)

資料3-6

事務事業名	ファミリー・サポート・センター事業
-------	-------------------

1 事業計画・評価

H26年度実績 (Do)	H26年度評価 (Check)	評価内容
育児の援助を受けたい市民と、援助を行いたい市民の間に立ち、会員が地域で育児に関する相互援助活動を支援するため、「ファミリーサポートセンター」事業を実施した。 ▼会員数 1,714人 (依頼会員 1,244人 提供会員 376人 両方会員 94人) ▼活動件数 6,073件		提供会員の不足を解消するため、提供会員募集の周知方法等を工夫したことにより、会員数・活動件数ともに増加した。しかし、地域によって提供会員が不足している状態は続いている。

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H26年度評価に基づく見直し (Action)

H27年度の具体的な取組 (Plan)	H27年度の方向性 (Plan)
トワイライトステイ事業、ショートステイ事業、母子等緊急一時保護事業、母児ショートステイ事業、母児デイケア事業を実施する。	トワイライトステイ事業の利用方法については、より公平・公正で利用しやすい仕組みを検討する。母児ショートステイ・母児デイケア事業は、母子保健分野等との連携を更に強化し、事業の実施方法の改善検討を行っていく。

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容
育児の援助を受けたい市民と、援助を行いたい市民の間に立ち、会員が地域で育児に関する相互援助活動を支援するため、「ファミリー・サポート・センター」事業を実施した。 ▼会員数 1,912人 (依頼会員 1,414人 提供会員 399人 両方会員 99人) ▼活動件数 6,670件		トワイライトステイ事業の利用方法については、より公平・公正で利用しやすい仕組みを検討する。母児ショートステイ・母児デイケア事業は、母子保健分野等との連携を更に強化し、事業の実施方法の改善検討を行っていく。

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の方向性 (Plan)	H28年度の具体的な取組 (Plan)
トワイライトステイ事業の利用方法については、引き続き公平・公正で利用しやすい仕組みを検討する。母児デイケア事業は、母子保健分野等との連携を更に強化し、事業の実施方法の改善検討を行っていく。	トワイライトステイ事業、ショートステイ事業、母子等緊急一時保護事業、母児デイケア事業を実施する。

平成29年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	地域によって提供会員が不足している状況については、周知方法などの改善に努める。活動件数の増加も見られ、1対1の相互援助活動によるきめ細やかな育児援助が可能のため、引き続き継続して実施する。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

2 指標実績の推移・現状分析

現状分析	3			2		1		3
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要は低い	余りがある	多くの余地がある	実施可能である	2	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要は低い	3	法により市が実施する事業であり、民間に委託して実施している。			
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2				
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3				
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3				
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3				
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2				

3 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
育児の援助を受けたい市民と、援助を行いたい市民の間に立ち、会員が地域で育児に関する相互援助活動を支援するため、「ファミリー・サポート・センター」事業を実施した。依頼会員数に対する提供会員数の不足の解消のため、提供会員募集の周知を行い、提供会員数に増加が見られた。活動件数は増加傾向にあり、市民からの高いニーズが伺える。

今後の課題・展開 (未達成の課題・具体的な方策等)
本事業の認知度を高めていくことで、サポートの提供活動件数及び提供会員数の増加に努める。